

Bookstart Newsletter



2019
夏
No.65

ブックスタート・ニュースレター



広島県府中市

特集

ブックスタートに深まりをもたらす市民の存在 「主任児童委員」「母子保健推進員」

地域の中で、「主任児童委員（注1）」
「母子保健推進員（注2）」として活躍
する人たちをご存知ですか？ 厚生
労働大臣や市町村長から委嘱を受け、
子育て支援や福祉、母子保健などの
分野で活動を行っている市民ボラン
ティアです。

そうした立場の市民がブックスター
トにも携わり、活動に深まりをもたら
している地域があります。

では具体的に、主任児童委員や母
子保健推進員は、ブックスタートに
どのような形で関わっているのだ
でしょうか。4つの自治体の事例をご
紹介します。

（注1）主任児童委員

厚生労働大臣から委嘱され、赤ちゃんからお年
寄りまでの相談・援助や、社会福祉の増進に努
める民生委員・児童委員のうち、児童福祉に関
することを専門に担当する人。

（注2）母子保健推進員

市町村長から委嘱を受け、行政の母子保健事業
に協力したり、子育てに関する身近な相談相手
として活動している人。厚生労働省の通知によ
り市町村が設置している。市町村によって名称
が異なる場合もある。

CASE 01

主任児童委員
広島県府中市

主任児童委員全員で活動を支える

府中市では、子育て支援センター、女性こども課、健康推進課、図書館、社会福祉協議会と、市民である主任児童委員が連携し、4か月児健診でブックスタート事業を実施しています。

市で活動する主任児童委員は12名。全員が図書館職員による絵本の読みかきの研修を受け、事業に携わっています。

健診会場では、和やかな雰囲気の中、親子一組と丁寧にコミュニケーションを取りながら絵本を読み、ブックスタート・パックを手渡します。



一組ずつに丁寧に対応します

「一人で悩まないでね」と伝え、関係機関につなぐことも

「赤ちゃんについて相談する人はおる？一人で頑張り過ぎないでえんよ。困りごとがあったら私たちに遠慮なく相談してね」

ブックスタートでは、主任児童委員がそうメッセージを伝えながら、自分たちの連絡先が書かれた資料を手渡します。市内6つの地区には、各2名ずつの委員がいるので、身近なところに相談相手がいることを保護者に直接伝えるのです。

これまでは、ブックスタートでのやりとりを通じて、経済的に厳しい状況にあることを打ち明けられたり、家族の病気に関する相談を受け、関係機関につないだこともありました。

まずは、楽しくゆったりとしたひとときを届けたい

その一方で委員の皆さんは、「必要に応じて関係機関につなぐのも、もちろん大切な役割ではあるけれど、まずはブックスタートで楽しくゆったりとした時間を過ごして欲しいと思います。赤ちゃんは地域の宝。

ました。

なによりも、みんなで子育てを応援しているよ、という思いで、活動に携わっています。



笑顔で親子を迎えます

CASE 02

主任児童委員
千葉県茂原市

未参加家庭への訪問が支援のきっかけに

茂原市では、ブックスタートに参加しなかった家庭を主任児童委員が訪問し、ブックスタート・パックを手渡しています。

訪問では、すぐにドアを開けてくれる方ばかりでなく、何度も伺ってやっと話ができる場合もあります。中には、引越してきたばかりで近い3人の子どもの世話に手

CASE 03

母子保健推進員
栃木県那須塩原市

顔を合わせて案内することで親子が地域に向ききかけに

いっばいで、呼び鈴に应对する余裕すらなかったという保護者もいました。主任児童委員が「何かお手伝いできることはありませんか？」と聞くと、涙ぐみながら「いっばいあります」と保護者が答えてくれたことで、支援につなげることができました。

那須塩原市では、2〜3か月児の家庭を母子保健推進員が訪問する乳児家庭全戸訪問事業でブックスタートを実施しています。訪問では、子育てに関する相談に乗ったり、子育て支援の情報を伝えたりしますが、絵本があることで会話が弾み、訪問がより受け入れられやすくなりました。

母子保健推進員は、公民館での子育てサロン（乳幼児親子の交流の場）にも協力。訪問時の案内をきっかけにサロンに来て、推進員と親子が再会することもあるそうです。ブックスタートも行われる訪問事業での母子保健推進員との出会いは、親子が

VOICE

府中市子育て支援センター
センター長

正畑 光代さん

主任児童委員と一緒に考え、手を取り合うことが活動の充実につながる



主任児童委員さんは普段から、地域に根差した活動の中で、行政では気づかないような情報もキャッチして、関係機関と連携して対応を行っています。ブックスタートでも、気になる親子がいれば行政につなぎ、ご自身が持つネットワークを使って手を差し伸べてくれるので、きめ細かい支援ができています。

また、地域のことをよくご存知なので、ブックスタートについても、今の地域に合ったより良いやり方を提案してくれます。主任児童委員さんと、「できることは何でしょうか?」「こういうことは可能でしょうか?」と相談しながら一緒に探っていく、手を取り合ってやっていくことが、活動の充実につながっていると感じています。

先日、関係者会議で、皆さんが「事業開始後16年経ったが、今16歳の子どもたちは、絵本のことをどう思っているのかな?」と発言されていました。このように、ブックスタートを通して、子どもたちの成長をずっと気にかけてくださっていることを、とてもありがたく思います。

私たちも、保護者と一緒になって笑ったり、赤ちゃんの成長を喜んでりしています」と言います。

委員の神田敏治さんは、「ブックスタートでは、保護者が赤ちゃんを

地域とつながるきっかけになっています。

CASE 04

母子保健推進員
千葉県八千代市

事前の訪問でブックスタートを周知

八千代市では、ブックスタートの周知に母子保健推進員が協力しています。生後4か月までに全戸を訪問する「こんには赤ちゃん事業」を母子保健推進員が担当しており、ブックスタートの案内もしています。

「パックの写真があると、より説明がしやすい」という母子保健推進員のアイデアにより、説明用の写真資料を用意。事前に具体的な説明を受けた保護者からは「ブックスタートが楽しみになりました!」という声が多く聞かれています。



写真が入った説明用資料

おわりに

4つの自治体の事例を通して、主任児童委員や母子保健推進員がブックスタートに携わることは、保護者にとって、身近に子育てを見守り、相談にも乗ってくれる人がいることを知り、この地域で安心して子育てができるんだと思えることにつながるのではないかと感じました。

また行政にとっては、地域の中にある細かなニーズを拾い上げ、住民に近い視点から意見を述べてくれる存在は、事業を充実させていく上で、大きな支えになっています。

こうした人々の参加により、ブックスタートが、地域ぐるみで子育てを応援する取り組みとして、さらに可能性を広げていくように思いました。



府中市主任児童委員の皆さん

ほっと PHOTO

ブックスタート会場でのひとコマ をご紹介します！

各地域の話題は当法人ウェブ
サイトのスタッフブログでも
ご紹介しています。



ブックスタート スタッフブログ 検索

茨城県牛久市

やさしい読みきかせの声と、あたたかいまなざしに包まれたひととき。
2003 年から、一組ずつの親子に心をこめて絵本を手渡しています。
[ブログ 2018/12/13]



ウサギの名札はボランティア
一人ひとりの手作り。少しず
つ表情が違うのも魅力。

ベルギー・イギリスを訪問してきました！



ヨーロッパ各国の子どもの読書に関わる団体が一堂に会し、会議
を開催。当法人からも職員 2 名が参加し、日本のブックスタート
を紹介しました。
詳しくはブログ連載：世界に広がる「赤ちゃんに絵本を贈る活動」
(1)～(4)をご覧ください。[ブログ初回 2018/11/13]

東京都小平市

オルゴールの心地よい音楽が流れる中で、ゆったりと絵本を楽しみます。
[ブログ 2018/10/2]



北海道根室市

会場には布の絵本や手作りの人形も用意され、
あちこちでにっこり笑顔が広がります。
[ブログ 2018/9/10]



ダンスを踊るお人形。
赤ちゃんもご機嫌に。



ここのことは

スタッフが出合った言葉

抱っこは抱きあうことか / 子の肩に顔うずめ子の匂いかぐとき

歌人の俵万智さんは、自分が一方的に子どもを抱っこしているつもりだったけれど、「実は抱き合っているというのが、
本当のところかもしれない」といいます。絵本も一緒に、赤ちゃんに「読みあう」ものなのでしょう。だからこそ
感じられる何かがあるように思います。＊『俵万智の子育て歌集 たんぽぽの日々』俵万智・著 / 市橋織江・写真 / 小学館